

特別講義

# 改正大麻取締法の意義： 大麻乱用防止と医療応用

The significance of the revised Cannabis Control Act:  
Preventing cannabis abuse and its medical application

湘南医療大学薬学部薬理学研究室 教授

Professor, Laboratory of Pharmacology, Shonan Medical College School of Pharmacy

厚生労働省指定薬物部会 委員・部会長代理

東京都薬物情報評価委員会, 大阪府薬物指定審査会 委員

## 船田正彦 先生

Prof. Masahiko FUNADA, Ph.D.

船田正彦先生は、長年にわたり危険ドラッグなど乱用薬物の薬物依存性ならびに毒性に関する評価データに基づく提言を行い、薬物流通規制に関する法整備のバックアップをされ、また薬物乱用防止に関する報道や資料作成をされています。最近では、大麻規制検討小委員会メンバーとして改正大麻取締法施行のための助言を行っておられます。

<講義要旨>

わが国では大麻の乱用問題が表面化しており、大麻事犯の検挙者は、ここ数年で一気に増加し、特に、20歳未満の大麻事犯検挙者の増加は深刻であり、若年層への大麻乱用拡大が危惧される状況である。一方、海外では大麻成分を利用した医薬品が登場し、医療ニーズが高まっている。こうした状況から、わが国では2023年12月に大麻取締法が改正された。一方、米国では成人向けに、嗜好目的での大麻使用を合法化しており大麻使用が拡大している。それに伴い、大麻使用を伴う交通事故の発生増加、大麻または大麻成分を含有する食品等の摂取による健康被害の増加が報告されている。本講演では、米国での大麻規制の変遷をふまえ、大麻の乱用問題と医療応用の観点から、改正大麻取締法(2024年12月に施行)に至った経緯と概要および基礎研究なども踏まえ現在の大麻を取り巻く課題について詳解する。

For many years, Professor Masahiko Funada has been making recommendations based on evaluation data regarding the drug dependency and toxicity of dangerous drugs and other abused drugs, backing up the development of laws to regulate drug distribution, and reporting and creating materials regarding the prevention of drug abuse. In this lecture, taking into account the evolution of cannabis regulations in the USA, he will provide a detailed explanation of the background and overview of the revised Cannabis Control Act (enforced in December 2024) from the perspective of cannabis abuse issues and medical applications, as well as basic research and the current issues surrounding cannabis.

日時: 2025年2月20日(木) 17:00~18:30

場所: 鹿田会館(旧生化学棟)2階講堂

お問い合わせ: 脳神経機構学 浅沼幹人 (内 7097)

この講義は、博士課程授業科目の「研究方法論(基礎・応用)の授業に出席したとみなされる講演会」としてカウントすることが可能です。

This lecture is a special lecture for doctoral coursework. It can be counted as attendance in the Research Methodology class.